

R6年度第1回日高圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会 2024.7.10

野口孝子 推進員



R6年度はR7と2期続け取組むことで
いっとうの効果をわらいます!

共通事項

R5年6月開催!!

障がい者が暮らしやすい地域づくり推進本部



- ① 権利よりの推進
- ② 障がい者が暮らしやすい地域づくり
- ③ 障がい者の就労支援

日高管内でも日高町、
平野町、新島町、新ひがし町、
浜河町が方針を定めています

優先調査法。というもあり、
道や市町村は調査方針をつくる
ことになっています!



報告事項

① 道条例に関する施策の推進状況

虚待や差別等の解消 → 申立事例なし
14圏域 28回

※道内の虚待通報 589件 ← 虚待認定 95件
被虚待者数 128人

② R5年度 日高圏域地域づくり委員会の取組状況

協会の場 2回開催!(6月・3月)

取組1. 人権!!!

手話出前講座

取組2.

障がい者利便促進
出前講座

その他

情報ネットワー

協議事項

R6年度の取組について



お互いを
理解する機会
R6 協会の場を!
R7も2期つづける!

113名が立席の
人たちが
地域づくりは!

女子事例の
実践報告とが

協会の場とて...
差別解消支援地域協会の!
R6~差別解消法が変わりました!!
合理的配りの"ギム化"

手話出前講座

7月意向調査
7-8月講師公報
9月~開会!!



車を運ぶのぞ、セルスタンドをよく
使います。ドアをあげはなしにするのぞ。
2列のところがさけています。それぞれ断ら
れることもあります。レストランでもよくある。
一度断されたお店に次行、たら、20-70が
ついていたことでもあります。

継続する

理解促進
出前講座

年3回程度
新しい委員さんかき
てらさいたいです!!



以前障がい者の事件を担当したことがあります。
生活している中、就労への介入だけではなく、年間の
4ヶ月を調査します。5ヶ月は2ヶ月ではなく、20本
以上の調査が必要ない、と1ヶ月でした。
から、おぼろげではなく、社労士さんなどとチーム
で取り組むことが必要です。

合理的配りよ、以前に、どんな暮らしをしたいのか?
意志決定支援には、経験の積み重ねによる意志表出
支援が、まだ必要。障がい者とつくる地域づくりが1つ。



110-7-7で障がい者30%のまでをしていますが。
30%率が上がりましたが、実際に企業の求めている
マッチングが、かんたんではありません。
前例がなく断るのは合理的配りに反するのぞが...



グループホームは地域と言われるが、地域になじんでいるか?
地域住民は差別にいらより、「期り方が本からない」。
いまだに「ホロリの人」と呼ばれるのぞ、差別をうけて、暮らしが
町内会にもどんどん出ているようにしました。
支援者の役割は、つないで、本人の役割をうけつけないこと。
メンバーは今自治会の役員回りの活動をして、感謝されています。



障がいのある人たちの困難や工夫...
申立の有無だけではなく、苦勞していること、が2つにしていること。
工夫していることなど、117人の生活が、知るとよいぞですね!

